



桐原加奈子さん(17)

行く前は、家族には照れくさい気持ちがあったり素直になれないこともありましたが、ホストファミリーが感情表現豊かなところをみて、家族にも「ありがとう」など感謝の気持ちを素直に言えるようになりました。



石崎友子さん(17)

行く前は、海外では、男性が優しく、同級生の男女がともも仲が良いことが印象に残っています。



江藤美和さん(18)

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。



坂本智子さん(17)

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

## 海外ドラマが好きで、海外に憧れがありました。

去年、通訳として派遣された大塚麻里子さんは「ヘイスティングズ市の家族は本当に愛情深く、ありのままの自分を受け入れてくれます。学生たちはいつもびっくりするぐらいキラキラした顔で帰ってきます」と話しました。

昨年7月22日から12日間、アメリカの姉妹都市ヘイスティングズ市へ中高生8人が派遣されました。このプログラムは、国際的な視野をもつ人材育成を目的に、姉妹都市で1週間ホームステイを経験します。

今年もアメリカホームステイプログラムを計画し、このプログラムの参加者を募集します。今回は、昨年ホームステイした皆さんに、いろんな感想を聞いてみました。



## アメリカホームステイプログラム

## 高校の進路ガイダンスで、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

## 学生の時からずっと行きたかったのですが、部活を優先していたので行けませんでした。しかし、高校生の最後で行くことができました。学校の先生は就職試験を控えていたので心配していましたが、両親が後押ししてくれました。自分を表現したい、本当の自分を見つけたという気持ちがあったり、海外にいったら見つかるんじゃないかと思ったりです。帰ってから、クラスのみんなに変わったねといわれまし

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

## 英語が好きで将来外国の人に接する仕事になりたいと思っていたので、海外に行きたかったんです。町がサポートしてくれるから安心と両親がこのプログラムを勧めてくれました。ヘイスティングズでは、上半身裸で犬の散歩をしている人が何人もいて驚いていたら、アメリカのお母さんから笑われました。向こうでは当たり前なことなんです。

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

## 最初は行く気がなかったんですが、最初は野球に専念したかったんです。中体連に負けてしまったので、気持ちを切り替えて行くことにしました。高校受験のために英語の勉強にもなるかなと思いましたが、朝ご飯は少なすぎて夜たっぶり食べたり、大津は田んぼや畑が多いですが、ヘイスティングズはトウモロコシ畑が多かったりなど、違った点をたくさん発見しました。最初はプログラムの参加者が男が1人で心配だったのですが、今は仲良くなりました。みんなと会えてよかったと思います。

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

## 最初は行く気がなかったんですが、このチャンスに外国を見てみたいと思って参加しました。行ってみて、ポップコーンや肉の塊が大きいことや、リスが家の周りに普通にいることにびっくりしました。何もかもが面白かったです。

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

## きっかけは知り合いに勧められてですが、海外に行ってみたくて、言葉の違う友達と仲良くしたいと思って参加しました。ホームステイだと、家族旅行とは違う自由さがあると思います。もちろん責任もありました。大人になったらできない、今だけ限定という魅力もありました。アメリカの家族は優しく、姉妹がいたので友達になることができました。

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

## 3年生で部活をやめてから時間があまりました。海外のインテリアや美術品などにも興味があり、外国へは憧れもありました。

行く前は、海外で活躍している先輩が楽しそうに生き生きと話すのを見て、海外へ行ったら自分もそんな風になれるかもしれないと憧れていました。

## ホームステイに参加しませんか？

●申し込み・問い合わせ 役場商業観光課 商業観光係 ☎(293) 3115

- 派遣先 アメリカ合衆国ネブラスカ州ヘイスティングズ市(姉妹都市)
- 募集人数 中学生・高校生5人程度 通訳者 1人
- 派遣期間 7月下旬～8月上旬(予定)
- 経費・助成金 中学生・高校生は、経費の50%程度を助成。通訳者は町規定の旅費相当額を助成。
- ※昨年度は15万円程度(航空運賃に より変動することがあります)
- 主な参加資格 ①町在住で、このプログラムに参加することがない人(中学生・高校生) ②「事前学習会」と「帰国報告会」に全て参加できる人 ③帰国後に国際交流活動などまわりの活動に積極的に参加できる人など
- 申込方法 ①申込書②保護者の同意書(中学生・高校生) ③作文(参加動機を原稿用紙2枚程度にまとめたもの)をご提出ください。
- 申込期限 4月20日(金)

## 保護者のお話

最初は大丈夫かなと思いましたが、学校と自分の家庭だけの生活から飛び出して、子どもたちは自信を持って帰ってきました。視野が広がってコミュニケーションに自信もてるようになったようです。お金を出してでも価値のある経験ができたようです。



みんな、積極的にテレビの取材を受けていました